

議会の窓

議会広報編集委員会

委員長 宇野 等
 副委員長 ひろせ 一彦
 委員 宇佐美 みやこ
 委員 久保田 かずしげ

大野町議会 第4回定例会

本定例会は、12月2日から10日までの9日間の会期で開催し、契約、条例、予算案件等の10議案を審議し、可決しました。

また、9日には5名の議員が一般質問をしました。

可 決

契約案件

議第63号

大野町公立認定こども園 3歳未満児給食等業務委託の契約の締結について

契約の方法 公募型プロポーザル方式

契約金額 52,470,000円

契約相手方 シダックス大新東ヒューマンサービ
ス株式会社

条例関係

議第67号

大野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

※子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴う乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例制定

議第68号

大野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

※児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令の施行により、所要の規定の整理のための条例改正

議第69号

大野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

※児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令等の施行により、所要の規定の整理のための条例改正

議第70号

大野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

※児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令等の施行により、所要の規定の整理のための条例改正

予算関係

議第71号

令和7年度大野町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1,597万4千円を追加し、予算総額は、99億8,473万5千円となりました。

※補正予算の主な内容

歳入 障害者自立支援給付費負担金、財政調整基金繰入金等

歳出 介護給付費・訓練等給付費、デマンドタクシー購入経費等

議第72号

令和7年度大野町上水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出は、900万円増額し、総額は2億9,687万2千円となりました。

※電気料金の高騰に伴う事業費増

その他

議第64号

岐阜県市町村会館組合規約の変更に関する協議について

※岐阜県市町村会館組合を解散するにあたり、同組合の規約に事務の承継について特別の定めを追加するため、関係地方公共団体の協議により定めるもの

議第65号

岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継等に関する協議について

※岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継等に関して、関係地方公共団体と協議することについて、議会の議決を求めるもの

議第66号.....

岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組規約の変更に関する協議について

※岐阜県市町村職員退職手当組合から岐阜県市町村会館組合が脱退することに伴う規約の変更について、関係地方公共団体と協議することに対し、議会の議決を求めるもの

2 第7回竹中半兵衛生誕記念祭

- ①目的 行事へ出席するため
- ②派遣先 大野町大字公郷
- ③期間 令和7年12月13日
- ④派遣議員 野村議長
他3件

3 大野町議会総務文教委員会視察研修

- ①目的 公民連携（PPP/PFI）事業調査
- ②派遣先 愛知県岡崎市
- ③期間 調査終了まで
- ④派遣議員 全委員

報告等

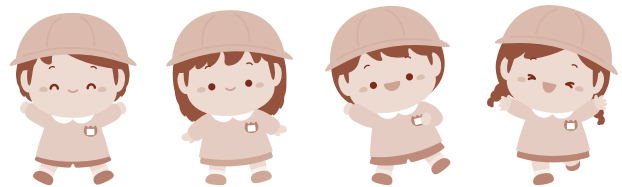
議員派遣

1 令和7年第2回西濃環境整備組合議会定例会

- ①目的 会議に出席するため
- ②派遣先 大垣市丸の内
- ③期間 令和7年9月26日
- ④派遣議員 野村議長
他24件

議会議員視察

町議会では去る9月10日、12月10日に令和8年4月に開園予定のみらいろこども園（本庄）を視察しました。



一般質問

お知らせ
議員の質問については、本人の意思を尊重し、掲載しています。



宇佐美 みやこ 議員

質問1 大野町の生涯学習について（一問一答）

- ①大野町の生涯学習の位置づけや意義、生涯学習を通して、何を目指し、求めておられるのかについて
- ②大野町の生涯学習をさらに活性化し、『人づくり』を図りながら、地域のコミュニティづくりや地域課題解決に活かす仕組みづくりについて
- ③利用料支払システムのデジタル化と公共施設予約システムの改善・改修に向けて

答弁
(教育長)

- ①一人ひとりの人生をより豊かで充実したものにするを目的に、総合町民センターやふれあいセンターを活用し、幅広い学習の機会を提供しています。今後もより充実した学習環境づくりを進め、「みんなで学び合い、誰もが活躍できるまち」の実現を目指して取り組んでまいります。
- ②誰もが主体的に参加し交流できる拠点「ふれあいセンター」を中心とした生涯学習活動や各種イベントを通して、地域コミュニティの仕組みづくりを促進し、地域の人材の発掘や育成を図ってまいります。そして、住民同士が支え合い助け合う持続可能な地域社会の構築のため、地域の課題解決に結びつくよう引き続き住民と共に努めてまいります。
- ③令和9年度システム更新の際には、利用者の利便性向上や窓口業務の効率化を図る観点から、いただいたご意見を参考にしつつ、システム更新にかかる導入・維持コストを精査した上で、支払システムを含めた予約システムの導入を検討してまいります。

質問2 学校における、保護者等の経済的な負担を軽減させるための取組について（一問一答）

- ①大野町の実施している学校における、保護者等の経済的な負担軽減の取組の現状について
- ②子育て支援の観点からも補助教材（算数セット・彫刻刀・裁縫道具等）を学校の備品とし、保護者の負担軽減を図ることへの方針について

**答弁
(教育長)**

①就学準備への経済的な負担軽減を図るための入学準備祝金、物価高騰分に対する給食費の補填、家庭学習のための学習通信環境整備補助金、自転車損害補償保険加入補助金などを実施しています。また、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者への就学奨励費なども実施しており、令和7年度においては、4,993万円程を負担軽減として実施しています。

②学用品等の備品などについては、みんなで創る学校づくりプロジェクトの過程において、学校管理で良いもの、家庭でも使用するものの仕分けを行い、保護者等の経済的な負担軽減を検討してまいります。現在本町は、令和7年10月に策定した大野町財政健全化プラン、また、大野町学校規模適正化基本方針による義務教育学校の設置に向けて、実現可能で持続可能な行財政基盤の構築を進め、国の施策が定まった後、町の財政を鑑みながら、適切な施策を講じてまいります。



ひろせ 一彦 議員

質問1 カーボンニュートラルを目指して（一問一答）

本年第1回定例会にてゼロカーボンシティについて質問したことについての経過質疑として、実行計画の取組施業150ヘクタール及び町有林約4.5ヘクタールの調査結果について

**答弁
(建設部長)**

今年度は、私有林の1haに対して現況調査を実施予定であり、調査に向けた準備を進めています。調査結果により、間伐などの施業が必要な箇所を明確にして、土地所有者と協議を行い、施業を行ってまいります。

町有林のうち、絆の森以外の未整備の部分も調査が進んでおりませんが、森林環境譲与税を活用することが可能で、整備効果が高い、私有林の過密林を優先的に現地調査を実施していますので、私有林の調査ののち、町有林の調査を実施してまいります。

質問2 婚姻届記入例見直しについて（一問一答）

「婚姻届記入例」即ち婚姻後の夫婦の氏について

**答弁
(民生部長)**

近年は氏の選択や世帯構成など、家族のあり方が多様化しており、性別による偏見や固定的な価値観を是正する観点からも、今後、婚姻届における婚姻後の夫婦の氏の欄の記入例には、夫・妻のいずれの氏にもチェックを付けず、注意書きで説明するよう見直しを行ってまいります。

質問3 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の使途について（一問一答）

生活費の負担軽減のために水道基本料金の無償化について

答弁
(町長)

物価高騰対策として、これまで実施した支援事業は様々あり、今年度は低所得世帯支援、定額減税補足給付金（不足額給付等）支援、認定こども園等給食費無償化、学校給食費物価高騰支援に取り組んでいます。

国から交付額が示された際に早急に対応できるように、水道基本料金無償化も施策の1つとして検討を進めてまいります。



宇野 等 議員

質問1 財政状況について（一問一答）

今後5年間の町の財政状況は厳しいと認識しているが、人件費や社会保障関係経費の増に加え、新事業への起債等を行えば、かつてない厳しい局面を迎えるのではないかと懸念されている。こうした財政悪化が見込まれることに対して、町はどのように分析し、対応していくのか、また、今年度スタートした第七次総合計画への影響はあるのかお伺い致します。

答弁
(町長)

企業進出に伴う固定資産税の増収が見込まれる一方、地方交付税の減収、歳出では企業進出に伴う工場等設置等奨励金、西濃厚生病院への補助金などにより、令和8年度以降の5年間で約30億円の歳出超過（赤字）を見込んでいます。

そのため、基金の運用や起債の発行に基準を設け、また、歳出予算の削減を図り、第七次総合計画を推進するため町が行うべき施策について、政策的な優先順位をつけ来年度以降の予算に反映してまいります。

質問2 行政改革について（一問一答）

推進状況と今後の改革計画案についてお伺い致します。

答弁
(町長)

町民の視点に立った、より質の高い行政サービスの提供を目指し、人材・資産等の経営資源の有効活用、自主財源の積極的な確保等による効率的な行財政運営、行政のデジタル化による住民の利便性の向上等に取り組んでいます。

今後5年間の町独自の「財政健全化プラン」に基づき、財政運営基準を遵守し、歳出抑制を図りながら健全な財政を維持するため、全庁規模での歳出予算の徹底した見直しを行い、厳しく踏み込んだ経費の節減・合理化を実施してまいります。また、町税等の収入率向上に向けた債権確保の強化、町有財産の有効活用や広告収入など新たな財源の確保に取り組むとともに、公共料金の見直しなど受益者負担の適正化を図ってまいります。

質問3 「柿とバラのまち」大野町について（一問一答）

①柿は岐阜県の特産物であります。その中でも断然トップで大野町はその中心生産地であるが、柿農家が高齢化し、担い手がなくなってきて、この宣言とは異なる方向に向いてますが、この現状と今後の対策についてお伺い致します。

②その中でも農林水産業費の内の農業振興費についてお伺い致します。

答弁①
(建設部長)

今年度から新たなシステム構築に向けて「研修センター設立」、「受託システム」、「情報発信（SNS等）」、「販路拡大」について、大野町かき振興会、JAいび川、揖斐農林事務所と協力し、かき振興における現状の課題把握や、他地域の先進事例などの情報共有及び意見交換を実施し検討を進めています。

今後は、受委託希望者のリスト化、マッチング作業のための柿農園マップの作成を行い、柿研修制度や受委託体制の再構築に向けて取り組んでまいります。

答弁②
(町長)

柿研修センターのシステム構築に向けて、関係機関と連携して取り組むとともに、予算の拡充や新たな補助についても検討してまいります。



長沼 健治郎 議員

質問 **災害時に備え町道黒野北野畑線（名鉄廃線敷旧谷汲線）の道路機能を活かしそれを有効活用する方策について（一括質問一括答弁）**

大分市佐賀関の大規模火災を踏まえ町道黒野北野畑線の自転車、歩行者道としての整備は大野小学校辺り迄ですが、この沿線沿いは他地区と比較し比較的人口密集地区であり災害が懸念される中、この道路機能を活かしそれを活用した避難誘導マニュアル作成や防災訓練等を実施し道路の有効活用の方策を図ったかどうかお伺いいたします。

答弁
(危機管理監)

名鉄廃線敷は、災害時の避難路として利用できるような様々な機能を持つ道路として整備されており、その進捗に合わせ評価・整理、周知をする必要があると考えています。
今年度末を目標に、町の災害対策に関する総合的な計画である大野町地域防災計画へ、道路機能を活かした避難誘導等に関して適切に反映し、町防災訓練等では災害時を想定した指定避難所等へのルート確認を行うなど、今後も地域や消防機関等との連携のもと、名鉄廃線敷の活用方策の検討や、防災訓練等を通じて地域防災力の向上を図ってまいります。

再質問

Q 避難者や緊急車両などが通行できるよう、緊急時に交差点ごとの車止めの鍵を解錠し、除去する等の管理手順マニュアルはあるか、また、揖斐郡消防組合との情報共有はできていますかお伺いします。

A 車止めの鍵については道路管理者である町、町防災担当である総務課、当該地区の区長、揖斐郡消防組合において保管しています。また解錠の手順を含めた管理マニュアルについては、地域防災計画へ反映させた後、必要に応じ策定を検討してまいります。



久保田 かずしげ 議員

質問 1 **鳥獣被害の一つとなるガバメントハンターの育成について（一括質問一括答弁）**

農林・環境問題である鳥獣被害が、昨今、熊が人を襲う事案の発生から、これを災害と捉え、対応策の一つとなるガバメントハンターの育成について

答弁
(建設部長)

クマによる人的被害が全国で多発する中、目撃情報の通報体制の強化、町民への注意喚起、防護柵や捕獲オリの設置等を行っています。また、町長の判断で銃器を使用した捕獲を行う際の「緊急銃猟マニュアル」の整備について、揖斐警察署や揖斐郡猟友会などの関係機関や郡内 3 町で協議を行い、令和 8 年 4 月からの運用開始を目指してまいります。あわせて、クマに対応可能なヘルメットやプロテクター、盾などの装備を導入予定です。

ガバメントハンター（※ 1）の育成・導入については、国や県、他市町の動向を注視しながら、関係機関との協議を早急に始めてまいります。

質問2 第七次総合計画に掲げるゼロカーボンシティについて（一括質問一括答弁）

ゼロカーボンシティを目指す町に掲げる次世代自動車の導入について

答弁
(総務部長)

電気自動車用急速充電器について、今年度は、道の駅パレットピアおおのへ2基設置し運用を開始し、さらに庁舎西側に1基設置する予定です。今後は、より多くの方に利用していただけるよう周知・啓発に努めてまいります。

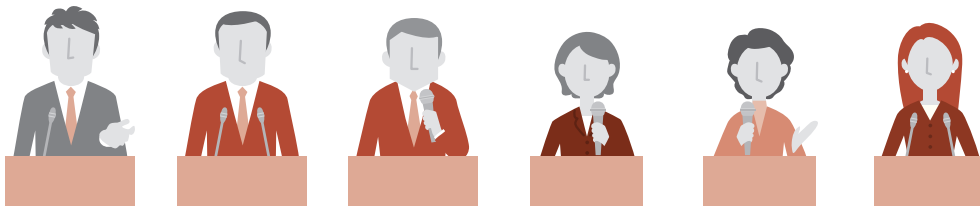
公用車の次世代自動車への更新については、導入コスト、V2H（※2）に対応した車種の導入等も考慮しながら、二酸化炭素排出量削減に向けて取り組んでまいります。

再質問

Q 次世代自動車の今後5年間の導入計画についてお伺いします。

A 現在のところ具体的な計画はありませんが、車両の状態を踏まえ、更新の際にはゼロカーボンシティの実現に向けて次世代自動車の導入を検討してまいります。

- ※1 猟銃資格を持ちクマなど野生鳥獣の捕獲・管理にあたる自治体職員
- ※2 EV（電気自動車）用の供給電システムのことで、EV（電気自動車）に蓄電した電力を自宅においても活用できるシステム。家庭用の電気自動車等への充電、また、反対に電気自動車から住宅等へ給電ができる。



議会のうごき【議会議員が出席した主な行事等】

9月

26日	令和7年第2回西濃環境整備組合議会定例会	野村議長
	令和7年第2回大垣衛生施設組合議会定例会	野村議長
30日	令和7年度揖斐郡町村議会議長会・第2回会議	野村議長

10月

1・2日	議員視察研修	全議員
3日	令和7年第2回揖斐郡消防組合議会定例会	野村議長
6日	町内小学校運動会	全議員
7日	第76回岐阜県町村議会議長会定期総会・町村議会正副議長研修会	野村議長・宇野副議長
11日	第30回根尾川花火大会安全祈願祭及び開会セレモニー	野村議長・ひろせ総文委員長
	第30回根尾川花火大会	全議員
12日	第30回根尾川花火大会に係る清掃活動	全議員
13日	第45回大野町民体育大会開会式	野村議長
18日	第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2025）総合開会式	野村議長

19日	令和7年度大野町総合防災訓練 ねんりんピック岐阜 2025 大野町ノルディックウォーキング 開会式	全議員 野村議長
20日	例月検査	久保田監査委員
24日	財務監査	久保田監査委員
25日	令和7年度薩摩義士秋季法要・顕彰式	野村議長
26日	「消防感謝祭」第74回岐阜県消防操法大会	野村議長

11月

1日	おおのフェスタ 2025 オープニングセレモニー 令和7年度大野町功労者表彰式／柿とバラの町農地・水・環境 保全組織表彰式	野村議長・ひろせ総文委員長 全議員
	政権与党国会議員との意見交換会	野村議長
2日	第37回福祉のふれあい広場オープニングセレモニー	野村議長
4日	地方自治連絡協議会	野村議長
5日	知事と町村議長との意見交換会	野村議長
12日	第69回町村議会議長全国大会 大野町行政改革推進委員会	野村議長 国枝議員・山川議員
17日	令和7年第4回揖斐広域連合議会定例会 例月検査	野村議員・宇野議員・ひろせ議員・宇佐美議員 久保田監査委員
25日	議会運営委員会	宇野委員長・ひろせ副委員長・井上委員・宇佐美委員・野村議長
26日	財務監査	久保田監査委員

12月

1日	第3回岐阜県町村議会議長会評議員会	野村議長
2日	第4回定例会（開会） 全員協議会 議会運営委員会	全議員 全議員 宇野委員長・ひろせ副委員長・井上委員・宇佐美委員・野村議長
3日	総務文教常任委員会 民生建設常任委員会	全議員 全議員
7日	第66回揖斐郡駅伝大会開会式	野村議長
9日	第4回定例会（一般質問）	全議員
10日	第4回定例会（閉会） 公立認定こども園視察	全議員 全議員
13日	第7回竹中半兵衛生誕記念祭	野村議長
17日	区長会懇親会	野村議長
18日	例月検査	久保田監査委員
19日	議会広報編集委員会	宇野委員長・ひろせ副委員長・宇佐美委員・久保田委員・野村議長
24日	財務監査 令和7年度第2回揖斐地域行政懇談会	久保田監査委員 野村議長

略 総文 = 総務文教常任委員会 民建 = 民生建設常任委員会

議会議員視察研修報告

『議会の ICT 化についての行政視察を終えて』

議会副議長 宇野 等

視察先

- (1) 熊本県大津町 熊本地震をきっかけに議会のデジタル化に取り組んだ先進地
- (2) 熊本県御船町 熊本地震をきっかけに議会のデジタル化に取り組んだ先進地
- (3) こども本の森 熊本 世界的建築家、安藤忠雄さんから熊本県へ寄贈された全国で 4 番目の図書館

ICT 化は時代の流れでどうしても推進していかなければならない課題のひとつであります。しかし、議員の高齢化もあってか、新しいことをやろうとする場合は、必ず抵抗があって、なかなか推進できないのが常であります。

大津町は、半導体企業の TSMC の進出、本田技研の誘致と農業中心の町から「企業城下町」へと変わりつつあり、外国人の方が400人から最近2,000人へと増加傾向にあること、議員定数16名（平均年齢54.9歳）のところ、地元出身者が8名、残りは他市町からの出身と比重が変化しており、議員が新しいことに慣れるまでに10年余りを経過してきたということです。

また「恐竜の郷」御船町は、コストコ（量販店）の誘致、TSMC の誘致、また小学生からの英語教育指導といった、町の変化、ICT 推進に力をいれています。この町も議員定数14名（平均年齢65.1歳）と高齢化の中で、熊本地震から復興させるために ICT 化に取り組んできましたが、それでも紙資料を必要とする議員が7名、完全ペーパーレスの議員が7名と議長自ら「慣れですね」と70歳であるにも関わらず先頭を走ろうと努力されている姿には感動しました。御船町も議会タブレット導入から5年になろうとしています。産休中の女性議員も、コロナ感染で休まれた議員もオンラインで議会に参加しておられ、空白をつくらぬことには感心をしました。

大野町議会では、平成28年12月から、資料や情報の閲覧用タブレット端末が貸与されていましたが、現在は OS サポート終了のため昨年秋に使用ができなくなりました。私はこの2町を視察して、大野町も特別調査委員会を早急に設置して、一般企業と肩を並べられるくらいに、議会も行政も努力すべきと反省しました。

今回、安藤忠雄さんが寄贈された「こども本の森（図書館）」を視察しました。安藤さんは少年時代貧しくて勉強に苦労されましたので、「こどもに本を読んでほしい」「勉強してほしい」こんな願いからできた寄贈図書館です。今日、まちから本屋が消えてしまい、図書館は指定管理者に委託してしまっているが、果たしてこれでよいのか、疑問です。未来を担うこどもたちに読書の習慣を身につけてほしい、図書館は町直営にすべきであり、「我が町のこどもは我が町で育てる」気概を持って、学習できる環境整備を整えるべきと私は考えます。

このような事が行政視察を終えて再確認したことであり、今後のまちづくりに生かしていきたいと願いつつ、報告とします。



▲大津町役場で議会 B C P の取組みについて学ぶ議員



▲「こども本の森 熊本」にて



▲御船町役場で議会のデジタル化について学ぶ議員